



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Theme of Rotary International 1992-3

Real Happiness is Helping Others

まことの幸福は人助けから

1992-3年度国際ロータリーのテーマ/クリフ・ダクターマン R.I.会長

●本日の例会

3月19日 第314回例会

■卓話「高齢化と高度医療技術開発」

"Aging Generation and Development
of Advanced Medical Technology"

東京新南ロータリークラブ会員

ジョンソン・エンド・ジョンソンメディカル株式会社代表取締役社長

廣瀬 光雄 氏



「森の水車」

作詩/清水みのる ソングリーダー/山下忠治君 ピアノ伴奏/泉晶子さん

緑の森の彼方から 陽気な歌が聞こえましょう

あれは水車の廻る音 耳をすましておききなさい

コトコトコットン コトコトコットン ファミレドシドレミファ

コトコトコットン コトコトコットン 仕事に励みましょう

コトコトコットン コトコトコットン いつの日か 楽しい春がやって来る

●先週報告

3月12日 第313回例会

■第2750地区地区大会に振替

・3/12(金)、3/13(土) ・新高輪プリンスホテル 国際館パミール

■出席報告 会員70名中 出席57名、欠席3名(内出席免除者3名) / 3月5日修正出席率94%

●先々週報告

3月5日 第312回例会

■卓話 イニシエーションスピーチ「建築設備と地球環境」

当クラブ会員(株)隆設備設計事務所代表取締役 佐々木忠行君

■会長報告 意義ある業績賞について

小倉地区ガバナーより3月1日付けで、当クラブに「ガバナー賞」の受賞のご連絡をいただきました。

■環境保全委員会(坂本委員長) 環境保全基金500円玉ボックスについて会員の皆様の協力で、1～2月分81,000円(10月よりの累計165,000円)の募金が集まりました。今月、地区ガバナー口座へ振込いたします。引き続きご協力の程お願い申し上げます。

■雑誌委員会(田中委員長) 「ロータリーの友」3月号に二宮会員夫人の俳句が掲載されております。

■食べ歩き同好会(宮本代表世話人) 第14回食べ歩きの会開催について

(と き) 3月23日(火)18:30～ (ところ) 横浜中華街「順海閣本館」

(会費) 会員/12,000円 ご夫人/10,000円

美味な中華料理を食べながら歓談し、楽しいひと時を過ごしたいと思います。奥様ご同伴で大勢のご参加をお待ち申し上げます。

■慶事披露 お誕生日/小浜 雅亮君(3月1日) 100%出席/青野 信次君(5年)

■出席報告 会員70名中 出席50名、欠席20名(内出席免除者3名) / 2月26日修正出席率91%
/ビジター(地方1名・都内5名、敬称略) 松田一雄(網走西)、尾関武男(東京中央)、宮崎英一郎・末次英夫(東京新橋)、松本栄・H.Schmidt(東京南) / ゲスト李榮洙さん(米山奨学生)

●火曜会報告

／親睦活動委員会

3月2日(火) 17:30～19:30

東京全日空ホテル37Fスカイバーアストラル

お忙しい中にもメンバー8名の参加で3月の火曜会を開きました。37階からの夜景を楽しみながらお話も一段とはずみました。次回4月の火曜会は、4月6日(火)です。大勢のご参加をお待ち申し上げます。

参加者/河合、平井、西澤、佐藤(定)、田中、入沢、河原、四分一(順不同・敬称略)



3月5日●10件/¥24,000

多額のご寄付をありがとうございました。

本年度累計/¥1,759,758

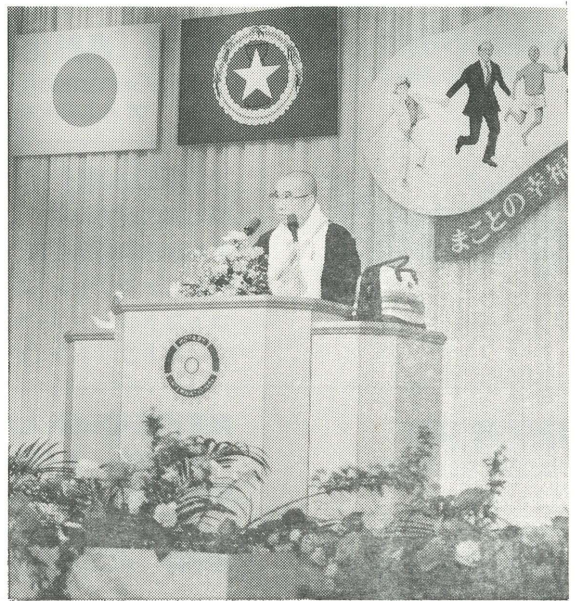
●佐々木 忠行/イニシエーションスピーチが無事済みますように。●小浜 雅亮/残り時間が段々計算しやすくなってきました。荒木さん写真をありがとうございました。●岩瀬 秀郎/柴本会長ありがとうございました。●平井 逸夫/荒木さん写真ありがとうございました。●関 征春/家の新築が完成し、三鷹に戻ってまいりました。●柴田 尚毅/夜間例会残念ながら欠席しました。●入沢 頼二/先週のファミリーコンサートは大変すばらしかったですね。●野見山 昭彦/またまた休みが続き内心じくじたるものがあります。●保森 登/通行税として。●坂本 実/ニコニコ当番でした。(順不同、敬称略)

R.I.第2750地区'92-93年度地区大会開催

- 3月12日(金)・13日(土)
- 新高輪ホテル・国際館パミール
- ホストクラブ=東京大森RC



▲小倉康三郎ガバナーの点鐘



▲薬師寺管主高田好胤講師による記念講演

●第1日目報告

第2750地区地区大会は1993年3月12日(金)13時より新高輪プリンスホテル国際館パミールにてホストクラブ東京大森RC、コホストクラブ東京田園調布RCのもと盛大に開催された。登録委員会報告によると当日の出席者数は地区外42名、地区内4281名、計4323名、女性291名であり、地区外13RC、地区内74RCが参加した。また当クラブよりは58名の登録があった。本会議は小倉ガバナーの点鐘、参加国国歌斉唱にて始まった。

クリフォード・L・ダクターマンRI会長代理小谷隆一氏(京都RC)よりRI会長のメッセージが発表された。その要旨は「胸を躍らせるようなロータリーのフロンティアを探索し、ロータリーの友との温かい友情を楽しみ、ロータリーの素晴らしい活動に対して、皆様の情熱と献身の決意を新たにしてください」であった。

来賓紹介、各クラブ紹介、物故会員に黙祷後、ホストクラブ会長より、この不況下のもと、4300名余の会員に参加していただき感謝する。本大会のテーマは『地球環境と人の心』であります、と歓迎の言葉があった。小倉ガバナーより本大会の目的はテーマに沿ったものであり、その第一は親睦の増進であり、旧知を温め新しい友人を作ることである。第二は

感銘深い講演を聞くことであり期待に充分応えることができると思う。第三は地区内の関心事の討議、特に環境問題を考えることによりロータリアンにとって示唆にとんだものになるであろう。親睦と奉仕を視点・発想を変えて捉え、参加されたロータリアンに意義深い楽しい大会であるよう願うと挨拶された。

その後小谷RI会長代理より1993年3月8日現在、全世界では地区数501、RC数26,092、ロータリアン数1,161,823名であり、日本は33地区、2049RC、124,757名である。人数での第1位はアメリカで約42万名、日本は第2位、3位インド56,000名、4位イギリス53,000名、5位ブラジル52,000名であるとの現況報告がなされた。RI会長代理として、また長いロータリアンとして培ってきた「真のロータリアンとは他人に奉仕し人助けをすることに満足感を見出すことが大切である」という信条を切々とスピーチなされ大変感銘深いものであった。

その後3年前の田辺PG(東京新南RC)時に結ばれた第3650地区(韓国)との姉妹地区の再調印式が行われた。

シンポジウム「環境問題を考える」、レディースプログラム「世界のジョークと日本」、記念講演「地球を巡って」及び「RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会」が開催され第1日は終了した。

(青野記)

●第2日目報告

登録開始時刻の午前8時30分、会場に着く。ロビーでは既に相当数のロータリアンが見受けられたが、会議場はまだガラガラ。柴藤会員に出会う。RI会長代理は柴藤会員の会社の社長、一昨日よりいろいろ大変だった模様。宮本会員、渡部会員とも合流し、8時50分頃会議場に入る。昨日の当クラブの会員出席者は50名近くとの事であったが、今日は甚だ心もとない。参加クラブ紹介の時が思いやられると心配していたら、定刻間際に、柴本会長以下入沢幹事、沖、荒木、馬場等の各会員が到着し、総員16名となりヤレヤレ。

定刻の9時を少し過ぎたころ、小倉ガバナーに先導されて古谷RI会長代理ご夫妻が登壇、本会議が開始された。小倉ガバナーは、オリンピックの日本選手団のユニフォームを思わせる赤のジャケットを着用。ロータリーソング「我等の生業」の合唱の伴奏はテープ使用で、ホストクラブの大森ロータリークラブらしいやり方。次のプログラムの来賓紹介が大変だった。第一日目の登録者は、第二日目は登録手続きをしていないため、来賓の第二日目の出席確定名簿がなかった模様で、小倉ガバナーが、来賓席の顔を確認しながら紹介を進められた。時々、間が空いたが、ガバナーが「弁慶の立ち往生だな」とつぶやかれ会場が湧いていたが、ガバナーのかざ飾らぬ人柄がうかがわれた。

「地区内参加クラブ紹介」に移り、サア元気に立ち上がろうと思っていたら、時間の都合上、千代田分区はクラブ名を連続して読み上げ、その後出席の千代田分区会員が全員立ち上がる一括紹介方式となり拍子抜け。その他の分区は、各クラブ毎の紹介であったので、千代田分区会員はブービー。

「記念品贈呈」のプログラムの中で、我が新南RCはガバナー賞を受賞。誇らしい気持ちを味わう。米山記念奨学会寄付4,000万円達成の、南クラブはさすがの感、3,000万円達成の芝クラブには感嘆。「学生紹介」は3年前当クラブがスポンサークラブとなり地区大会を行った折り、もっとも混乱のないよう気を配ったところであったが、整然と和やかに進められ見事だった。

休憩後の記念講演は、薬師寺管主の高田好胤師が講師でタイトルは「心」、「日本は古来農業の国であり、特にお米は生活の基本をなし、これを単にコメとかメシと呼ぶべきでない。感謝の気持ちでおコメ、ゴハンと呼ぶべきである。」「幸せを幸せと感じ、感謝の心を持たないようになると不幸になる。」「人間文化の始まりは親孝行であり、孝は徳の始まりである。」「己が誕生日は、母の苦難の日であったことを諸人は思い知るべきである。」といった幾多の修行を積んだ老高僧の言葉には、重みと迫力があり、深い感銘を覚えた。



▲奨学生・交換学生紹介



▲地区内参加クラブ（当クラブ）紹介

この後、プログラムは順調に進み、予定をわずかに過ぎた午後1時5分、ガバナーの点鐘により、本会議は無事終了した。

この後、隣の「北辰」の間にて昼食懇親会に移り、午後2時10分ロータリーソング「手に手つないで」の合唱により、今年度地区大会の幕を閉じた。

尚、当クラブ当日の出席会員は、柴本会長以下、荒木、馬場、平井、入沢、川鍋、相澤、小西、宮本、柴藤、沖、山田、渡部、保森、横山、吉田の諸氏。

（吉田記）

●3月第9回 定例理事会議事録

日 時 93年3月5日(金)
例会后13:40~15:00
場 所 東京全日空ホテル1階
「孔雀の間」
出席者 柴本、後藤、廣江、宮武、
斎藤、武下、永井、入沢

■報告事項

1. 会長報告
2. 幹事報告／出席規定免除の解除：佐々木忠行君 2月5日まで
3. 会計報告
4. クラブ奉仕委員会報告／広報活動について
5. 国際奉仕委員会報告／R財団への寄付 (P.H.Fについて)

■決議事項

1. 新会員候補者3名の推薦受付を承認。
2. 出席規定の免除適用の件／渡部一元君
クラブ定款第7条第3節(a)項により93年4月2日の例会より4月23日の例会まで、同君の出席規定を免除することを承認。
3. 第5回クラブ協議会(4/9)について、次の通り承認。
テーマ／大勢の新しい会員を迎えてどう友好を深めるか 時 間／13:00~14:30
4. 米山奨学生・李榮洙さんのカウンセラーに引き続き94年3月まで宮澤博君を承認。
5. 地区要請の世界社会奉仕活動の件に応じ、世界社会奉仕委員会費より35,000円寄付することを承認。
6. 地区要請釧路震災義捐金の件に応じないことを承認。

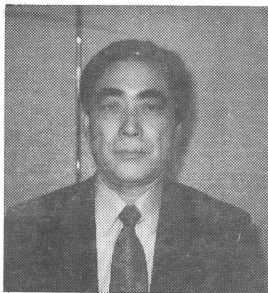
お知らせ

■他クラブ例会臨時変更のお知らせ

東京南RC→3/25(木) 夜間例会18:00~20:00 東京日本橋RC→3/29(月) 夜間例会18:00~
東京城西RC→3/31(水) 夜間例会

●卓話

3月5日 イニシエーションスピーチ
「建築設備と地球環境」



佐々木 忠行君 (当クラブ会員)

建築設備 (BUILDING FACILITIES) とは建築物内部空間を、居住者及び産業設備に適した環境に、人工的に創成する設備ということが出来ます。具体的には大きく3つに分けることが出来ます。即ち(1)空気調和設備(略して空調)(2)給排水衛生設備(3)電気設備の各システムです。(1)は通常いわれている冷暖房システムで建物内部空気の①冷却加熱②減湿及び加湿③気流の調整④空気の浄化(じんあい・細菌等の除去、有害ガス臭気の除去等)を行い、これを空調の四要素といいます。したがって現在ではこの四要素が全て揃った設備を空調といって単なる冷暖房と区別しています。30分間のスピーチではとても全ての設備を説明するのは不可能ですので今回は空調設備について基本的な説明をしながら、皆様が日頃知っておいた方が便利と思われる空気線図、熱の基本、冷却、減湿の原理、冷媒のこと、空調の仕組み等を気楽に勉強していただきたいと思います。建築設備を稼働させるには主に電気エネルギーと石油ガス等の化石燃料を使用することになります。さらに冷房するために必要な冷凍機の主な冷媒には、オゾン層を破壊する特定フロン(CFC)を使用しております。このCFCは1995年末に全廃が決定され、代替フロン(HCFC)も2020年度廃止、以降は、全て新代替物質HFCとなります。オゾン層の破壊より更に問題なのは化石燃料の使用料増加によるCO₂の濃度の上昇です。産業革命時の280ppmから360ppmにCO₂の濃度が上昇した結果、熱を大気内部に閉じ込め地球の温暖化は急激に進み、このままの状態で行くと「2100年迄には気温が約3℃上昇し、海面は0.3~1.1m上昇する」という予測を国連機構内に設置された「気候変動に関する政府間パネル(IPCC)」が発表し、1メートル海面が上昇したとき運輸省の所管する海岸線だけでどの位の被害が出るかを試算したデータがあります。それによりますと1400平方キロの土地が水没、被害人口が330万人、損害金額30兆円となっており他の省庁の所管を入れればこの3倍程度は下らないといわれております。地球環境を何とか良くするために我々建築設備に携わるものは様々な省エネシステムを考え、温暖化ガスの排出減少に努力しておりますが、皆様方がすぐ出来ることは当クラブの小冊子「環境問題について」に書かれている省エネ方法をすぐ実行することではないでしょうか。そうすることが、我々人類が生かしてもらっているこの壊れやすい地球という宇宙船に対する思いやりであり義務であると思います。

●次回予告

3月26日 第315回例会

■卓話予定 イニシエーションスピーチ

「高速道路から超高層ビル ~建設事業の周辺で30余年~」

当クラブ会員・(株)日刊建設通信新聞社代表取締役社長 相澤 成憲 君

東京新南ロータリークラブ

会長：柴本芳郎 副会長：宮武保義 幹事：入沢頼二
〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号

TEL.03-3505-5976 FAX.03-3505-6004

例会日●毎週金曜日・12時30分

例会場●東京全日空ホテル 〒107 東京都港区赤坂1-12-33 TEL.03-3505-1111

会報委員

青野 信次、新保 國彦、田中 武
鈴木 丈、大日方 真

●3月度編集担当者／荒木 昭文

●卓話テーマ翻訳／渡部 一元

●印刷／豊園堂印刷(株)